



ご挨拶

言葉と共に



かっています。

世界各国の作品は勿論ですが、日本の言葉の世界の深さ、新鮮さ、かけがえなさを伝えることは、今を生きる私達の役目でもあります。

「やまとうたは 人の心を種として、よろづの言の葉とぞなれりける…」日本初の文学論として歴史的にも重要視されている、紀貫之が仮名で書いた「古今和歌集」の序文

人は「言葉」と共に生きています。「言葉は人」とも言われます。「言葉」についての解釈は様々であり多岐に及びますが、「NPO日本朗読文化協会」の皆様は、朗読を通して言葉の世界に向

「仮名序」の冒頭です。…人の心を種として、そこから芽生えて、様々な「言の葉」になる…と1000年以上前に書かれた言葉への思いですが、誠に新鮮で、今もそのまま中学や高校の教科書にも取り上げられています。

「古今和歌集」の歌は、カルタでおなじみの「百人一首」でも親しまれていますが、その序文、かなで書かれた「仮名序」は歴史を越えて日本文化の原点とも評価されています。

大変解りやすくもあり、声に出してそのまま読むと、改めて言葉の力が伝わってきます。「人の心を種として…」言葉と共に生きる私達です。

名誉会長 加賀美幸子



私の街から書店が消えてから数年経つ。文化庁の調査を見ると、全国の書店数はこの10年で3割が減少している。成人の3人に2人が月1冊の本も読まないという。何故読書離れがここまですすんだのだろうか。情報機器の普及と利用時間の増加から本を読む時間が無くなったのが最大の理由という。デジタル機器は知的活動の幅を広げ、効率的でスピード感もあり、最早、生活の一部となっている。スマホなしではいられない時代なのかも知れない。本など読まなくともスマホ

スマホ時代の「読書離れ」を思う。

さえあれば何の支障もありませんと豪語する学生に対しては何と言っているのか言葉に詰まる。

作者がいて作品が生まれ、それを朗読というカタチで伝えてゆく私たちの活動はどこへ向かうのか不安になる。読書は異なる見方や知らない世界を映し出し、自分の考えや想像力、感情を深めてくれる。スマホでは得られない読書の面白さ、強みではないだろうか。私たちは真正面から朗読に取り組み、読書の楽しさを伝えてゆくことで読書習慣を取り戻す一助となることを願っている。

理事長 伊澤逸平

心と声 響き合う 朗読の世界を!



▲ホールに入場されるお客様



第21回「朗読の日」を振り返って思うこと

◆演出：永井寛孝

参加される方々との演出的関わりは2～3回。中でもグループ朗読参加者とは更に数回プラスの関りで、当然より深くお互いを知ることになる。作品の理解や方向性と表現についてのやりとりも増える。これが負担ではなく喜びと発展につながれば言うことなし! と思う私です。



Aステージ フィナーレ 司会・木村さおり



Bステージ フィナーレ 司会・加藤明美



Cステージ フィナーレ 司会・見澤淑恵



Dステージ フィナーレ 司会・斉藤ゆき子



▲本読み風景



▲前日にパンフレット準備

◆個人朗読

古今東西の様々な作品の心と世界を、それぞれの感性を通して伝えました。



◆澤則子

故郷の南部弁の優しい響きを皆様に感じてもらえるよう努めました。



◆稲葉慶子

外郎売は台本なしで全部暗記し、衣装にも工夫を凝らしてお陰様で好評でした。

◆グループ朗読 チームで繋げる話の輪

それぞれのチャレンジが、グループの修練で花開き感動を生みます。



▲Bステージ グループ朗読



▲Cステージ グループ朗読



◆金子裕子

極限状態でよく声が出たな、完遂できたなあ、生きてる実感! これぞ舞台ならでは!



◆満月ゆり

ずっと憧れだった「朗読の日」の舞台。4人で朗読、幸せな時間でした。



◆伊吹よし子

今まで主に個人参加だったので、今回複数人で響きが重奏的で新鮮でした。



▲Dステージ グループ朗読

色々な表現方法が未来へ繋がる道を切り拓く、人それぞれの道に出会う第21回「朗読の日」。これらを見据えています。



脱皮からはじまる一歩

◆演出：倉田ひさし

脱皮できない蛇は死ぬ…といわれます。2025年の干支は「巳」。果たしてうまく脱皮できたかどうか不安はありますが、皆さまのおかげで無事に第21回「朗読の日」を終えることができました。今後はさらなる飛躍をめざし新たな年を駆け抜けたいと思っています。



▲受付準備



▲登壇前の衣装替え

◆加賀美講座 「更級日記」菅原孝標女

千年の時を超えて伝える、菅原孝標女が描く平安の世界。



◆越光貴子

加賀美先生の解説で古典を朗読でき感激でした。グループの皆様にも感謝で一杯です。



▲Aステージ 加賀美講座



▲Bステージ 加賀美講座



▲Cステージ 加賀美講座



▲Dステージ 加賀美講座

◆スタッフは舞台を支える力。



◆鶴月光子

着付のお手伝いでしたが、着付後の朗読者の方のキリッとした表情が印象的でした。



◆中谷良史

路上整理では、スタッフもお客様のご協力に支えられていると思いました。



◆遠藤真理子

短い打ち合わせの中での意見交換が素晴らしく、感激。そして感謝でした。



第21回「朗読の日」を終えて

◆実行委員長：前尾津也子

第21回「朗読の日」は2025年6月21日(土)、22日(日)の2日間、銀座博品館劇場にて開催しました。延べ出演者数88名、入場者数は1248名と過去最多。新旧力を合わせて取り組み、今までの歴史の上に新しい一歩を踏み出すことができました。

◆アンケートより(抜粋)

出演者とスタッフのそれぞれの創意工夫とチャレンジが進化を支えます。

◆出演者の想い

・周囲(演出家、チーム)の人との交流から学び、特別な舞台で表現への挑戦を通して進化と多様性の広がりを実感しました。

◆スタッフの想い

・スタッフ同士のチームワーク、学び、達成感を体験、お客様の喜びが遣り甲斐に繋がりました。
・運営の記録の蓄積と活用が成長の鍵になります。

◆「朗読の日」事業についての想い

・「朗読の日」には、朗読文化を普及する役割と「言葉の力を伝える」社会的意義があります。
・変化の継続が成長し続けることになると思います。

◆総力はお客様のために

準備から本番、そして総括まで、それぞれの力を結集して総力でつくり上げています。



第21回「朗読の日」実行委員

前尾津也子(実行委員長)、中村悦子(実行副委員長)、松坂貴久子(実行副委員長)、朝比奈恵美、阿部公子、稲本由美子、岩崎三恵子、岩田理加子、鶴月光子、大沼雪乃、川口和代、木村さおり、斉藤ゆき子、田中邦子、中谷良史、本間尚子、武笠守博、山田和雄、渡部玲子

朗読の魅力をお届けよう

◆演出：倉田ひさし

第18回「朗読アラカルト」は、嬉しいことに多くのお客様に来場いただきました。高知や京都、岩手、山形をはじめ、各地からの初参加者にも恵まれ、例年にも増した魅力的なステージになったと思います。お手伝いいただいたスタッフの皆さんにも感謝。今後もより多くの人々に朗読の魅力をお届けられるよう、さらに精進しましょう！



第18回「朗読アラカルト」を終えて

◆実行委員長：中村悦子

第18回「朗読アラカルト」が12月15日(月)麻布区民センターで開催されました。今回は半数近くの出演者が初参加、遠方からの参加者も多く、朗読の輪が広がっていくことを感じます。様々なジャンルの作品に出会えたお客様の楽しそうな顔が印象的でした。



Aステージ フィナーレ 司会・鶴月光子



Bステージ フィナーレ 司会・本間尚子



Cステージ フィナーレ 司会・本間尚子



Dステージ フィナーレ 司会・鶴月光子



つながる ひろがる 朗読の輪

年末恒例の読み納め朗読アラカルト。
150名程のお客様にご来場いただき、大盛況でした！



受付などは役割分担



とても楽しそうな楽屋

◆出演者ひとこと

「初出演」「二人読み」「グループ朗読」と多彩な演目

◆Aステージ 阿部道子

はじめての親子共演で、内心どきどきしましたが、終わってみれば最高!!



◆Aステージ 村田邦安

無事に初舞台を終えてホッとする思いと達成感を味わっています。更に精進します。



◆Bステージ 村上真喜子

先生、先輩、家族からの恵み、そして自分の至らなさへの気づき。感謝です。



◆Cステージ 福田義子

ご指導頂いた先生、スタッフの皆様様に支えられ、緊張の初体験、楽しかったです。



◆Dステージ グループ・宮崎弥生

アラカルト誕生時の担当でした。今回は仲間と参加できて感謝です。



[朗読研鑽委員会]

朗読研鑽委員会は、原則、月1回の定例会議を開催して『朗読を学ぶ・伝える』ための基本計画の策定や、活動計画の立案、実施及び評価を行う等、協会における朗読の在り方について広く話し合いを重ねながら、講座の企画、運営計画を立案し、実施しております。

◆加賀美幸子特別講座

『朗読の日』に向けて「更級日記」、また、「方丈記」・「新古今和歌集」・「古今和歌集」等、朗読の深さを学びました。

◆朗読基本講座 第4回

元NHKアナウンサーの柴田実氏を講師に迎え、言葉、発声、文章の読み解き方と表現方法等、自習時間を設け受講者同士の交流も深めつつ、じっくり学ぶ機会となりました。

◆朗読特別講座

元NHKディレクターの山登義明氏の講義は、1月から3月までの3回。ドキュメンタリーやドラマ制作の視点から、朗読が担う力と意味、また番組で関わられた大江健三郎氏や向田邦子氏のストーリーは人間としての大きな才能と魅力を引出す取材力を教わり、心に響く講座となりました。

◆朗読指導者養成講座

心に届く朗読、また、朗読指導者を目指すためには朗読者の幅広い人間力が必要です。それらを深めることを目的とした「朗読指導者養成講座」。各界でご活躍の講師6名による充実した1年間のプログラムで、4月開講です。

朝比奈恵美／前尾津也子



◀朗読基本講座

▶朗読指導者養成講座



[高輪朗読会]

八重洲朗読会を引継ぎ、2023年9月より隔月で高輪区民センター、高輪図書館と共催で行って参りましたこの会は2026年3月で16回目を迎えます。毎回満員のお客様をお迎えし好評を得て参りましたが、残念なことに高輪区民セ

ンターのギャラリーが使用できなくなり、次の会場を検討中です。登録会員も増えていますので継続する予定です。

稲本由美子



◀第14回「高輪朗読会」(左)
第15回「高輪朗読会」出演者(右)

▶第16回「高輪朗読会」のご案内



[グループかもめ]

◆訪問朗読

年間約100回の訪問朗読を、高齢者住宅・高齢者施設・幼稚園・児童館に伺っております。訪問先に沿ったプログラムを組み立て、季節感・時事ネタを取り入れながら、特に高齢者の訪問先では、唱和・声出し・歌・クイズ等交えながら笑いの中、時にはリクエストなども受けながら、参加型の朗読会を楽しんでいただけるように工夫しております。



▲訪問朗読

◆「旧乃木邸朗読会2025年11/2・11/3」を終えて

両日、天候に恵まれ、旧乃木邸一般公開来園者は過去最高を記録。5作品を2日間ダブルキャストで担当し、今年も公園スタッフの方々や乃木神社の禰宜さまも聴きにきてくださり、とても好評でした。野外朗読会では鳥のさえずりや結婚式の雅楽音が聞こえてきて、「天ぶら」の作者である柏田道夫氏から「野外の朗読はそれぞれ趣があり、いいですね」との感想をいただきました。来年も参加予定です。

◆「かもめ朗読会」

速報！第15回かもめ朗読会は2026年3月30日(月)高輪区

▼乃木邸朗読会



民ホールで開催いたします。今年のテーマは「愛と絆(きずな)」。お客さまとかもめのWin-Winの公演を目指して、着々と準備が進んでおります。入場無料、今年も趣向を凝らしたプログラムにて皆様のお越しを心よりお待ちしております。

▼第14回かもめ朗読会

山村都



●新入会員オリエンテーション

たくさんの新入会員をお迎えし、2025年3月と8月にZOOMでオリエンテーションを開催。各回10名前後の参加がありました。「朗読の日」や「朗読アラカルト」、各種講座やボランティア活動など、ぜひ一緒に活動しましょう。

前尾津也子



●たかなわえほんのひろば

8、10、12月と高輪区民センターとの共催で開催しました。季節ごとのテーマを決め絵本を選び、手遊びやわらべうたで楽しんでいただいております。2年目となり少しづつ認知度も上がり、集客も増え、リピーターの親子の方も増えています。次回は2026年2月14日です。

本間尚子



◆OHAO PROJECT「食と文化のワクワク体験」参加

11月29日(土)、OHAO PROJECT「食と文化のワクワク体験」に、トルコの絵本を含む読み聞かせで参加しました。おにぎり作りや大学生のワークショップを通し、子供達と食と文化の交流を深め、楽しい一日を過ごしました。

中田真由美



●千葉いきいき大学

千葉いきいき大学(2025年9月8日開催)で、「朗読術 その変遷と課題」と題して、坪内逍遙、樋口一葉の朗読啓書等を例に、先人たちが、朗読についてどのように考え、表現方法について工夫してきたかの講演と佐藤すみ江さんの朗読をお聞きいただきました。

熊谷安次

●音訳・朗読ボランティア講座～埼玉県三芳町～

三芳町からの依頼で9月19日より毎週金曜日11回の連続講座を行いました。声とは?から始まり呼吸・アクセント・音訳・朗読について13名の方が熱心に受講。最終日はグループでの朗読発表と終了書の授与で無事終了いたしました。

稲本由美子



●さいたま文学館

◆「ちょこっと朗読劇」

3月23日(日)、さいたま文学館にて、東海林明は宮澤賢治「鳥の北斗七星」を、木村さおりは坂口安吾「桜の森の満開の下」を朗読しました。文学ホールほぼ満員のお客様にお聴きいただきました。とても貴重な経験をさせていただき、感激の一日でした。

木村さおり



◆「夜カフェ文学タイム」

10月15日(水)のさいたま文学館夜カフェ朗読会では、「秋の夜、今昔物語に思いを馳せて」と題し、前尾津也子が『田辺聖子の今昔物語』より「初午の女」と芥川龍之介の「鼻」を朗読。熱心なお客さまが多く盛り上がりました。

前尾津也子



◆「古典文学を感じる」

古典の日になんで、11月3日(月・祝)のレクチャーコンサート「古箏の調べとともに『長恨歌』の世界を楽しむ」。愛琴さんの古箏演奏と共に、「長恨歌」の背景についての講演と朗読を致しました。多くの心に響く感想も頂き忘れ

難い舞台となりました。

阿部侘奈



協会の活動報告

●カルチャーセンターへの講師派遣(2025年～)

開催場所	講師	日程
三越カルチャーサロン	内藤和美 (～2025年3月) 稲本由美子	毎月第2木曜日
セブカルチャークラブ 亀有	松島邦	毎月第2・4火曜日
ひばりが丘 カルチャーセンター	松島邦	毎月第1・3水曜日
稲毛海岸 カルチャーセンター	宮崎弥生	毎月第2・4土曜日
ユニクス鴻巣 カルチャーセンター	青木ひろこ	毎月第1月曜日
津田沼 カルチャーセンター	宮崎弥生	毎月第3火曜日
三芳町ボランティア グループ けやき	稲本由美子	毎月第3金曜日
杉並区立中央図書館 (すぎなみ地域大学) 「大人のための 朗読ボランティア講座」	蒔村三枝子	2026年2月1日(日)、 8日(日)、15日(日)

●朗読研鑽委員会及び三室長・室員就任について

新たなメンバーも加わり、2025年10月より今年度の運営が始まっています。任期は2年間。

■企画室 (7名)

室長 稲本由美子
室員 足立美津子 木村さおり 高橋貴美 東海林明
永井悦子 山村都

■事業運営室 (10名)

室長 前尾津也子
室員 朝比奈恵美 阿部公子 鶴月光子 齋藤こまり
田中邦子 中谷良史 本間尚子 松坂貴久子
安井裕子

■事務室 (5名)

室長 山田和雄
室員 小黑三重子 川名まち子 中村悦子 中村純子

■朗読研鑽委員会 (10名)

加賀美幸子 伊澤逸平 阿部侗奈 朝比奈恵美
岩田理加子 稲本由美子 木村彰夫 木村さおり
熊谷安次 前尾津也子

2026年のイベント

出演も観覧もサポートも。会員みんなで盛り上げましょう!

●第3回「朗読座談会」

「上手い朗読って、何？
私が惹かれる朗読！」と題して、2月23日(祝・月)、東京ウィメンズプラザにて開催します。加賀美幸子名誉会長、宮本隆治アナウンサーに加え、全国から選ばれた8名の皆さまがご出場。きっといろいろな気づきがあるはず！観覧や動画視聴のお申込みは、協会ホームページまたは同封のリーフレットをご覧ください。



●第22回「朗読の日」

今年は6月13日(土)、14日(日)の2日間、銀座博品館劇場にて開催。4ステージで、個人朗読あり、グループ朗読あり、バリエーション豊かなステージをお届けします。ご来場お待ちしております。(チケットの販売開始は3月下旬を予定)



●10周年記念古典研究会 朗読発表会

2026年4月16日(木)港区立伝統文化交流館で、10周年記念古典朗読発表会を行います。古典研究会の発足当初は無我夢中でしたが、今では古典の魅力にとりつかれ、楽しめるまでになりました。皆様のご来場をお待ちしております。入場無料・要予約。

阿部侗奈

●第19回「朗読アラカルト」

初出場の方も多く、会員みんなで作り上げる楽しい朗読イベントです！新入会員の皆さまもぜひ一緒にステージへ。



▲麻布区民センター・ロビー
▼「朗読アラカルト」受付

掲示板 会員の朗読会と活動情報(2026年2月～)

日程	公演名 ※開催日順・申込み順	場所	出演者名 ※複数の場合は、50音順
2月4日	「春待つ夜に聴きたい物語」夜カフェ文学タイム	さいたま文学館 プリマカフェ(埼玉/桶川市)	松坂貴久子
2月5日	「心に届く贈りもの～聴く朗読会」	錦糸町テルミナ(東京/墨田区)	永井喜代子
2月8日	「三田図書館朗読会」	札の辻スクエア小ホール(東京/港区)	宮崎弥生
2月14日	「えほんでほっかほか」	高輪区民センター(東京/港区)	たかなわえほんのひろば
2月15日	「春琴抄」第五回こえのしらべ 谷崎潤一郎生誕140年に寄せて	芦屋ルナ・ホール(兵庫/芦屋市)	近藤朋子 山木梨可
2月15日	「公津の杜朗読会」	YNサロンホール(千葉/成田市)	永井喜代子
2月15日	「向田邦子を読む」	仙台中央音楽センターIVY HALL(宮城/仙台市)	長野淳子
2月20日	「いきものがたりXII」～犬～	なかのZERO本館(東京/中野区)	稲本由美子 葛城七穂
2月22日	「シューマン・ロベルトとクララ 愛の軌跡」	栃木県総合文化センター(栃木/宇都宮市)	青木ひろこ
2月28日	真壁のひなまつり「絵本朗読会」	西岡本店(茨城/桜川市)	木村さおり
3月5日	桜の季節の物語～ピアノと共に～	ナチュレミュージックサロン(埼玉/三郷市)	松坂貴久子
3月7日	「第16回高輪朗読会」	高輪区民センター(東京/港区)	川口和代 関まさ子 内藤和美 中村悦子 前尾津也子
3月14日	「あなたへ、ありがとう」 ～酔女の夜 柴田講座有志～	ブックハウスカフェ(東京/千代田区)	朝比奈恵美 阿部公子 添川江梨子 本間尚子
3月17日	朗読「花」お楽しみ公演	八王子学園都市センター(東京/八王子市)	田中邦子
3月28日	「声の劇場」	東武ホテルレバント東京(東京/墨田区)	永井喜代子
3月30日	「第15回かもめ朗読会」	高輪区民センター(東京/港区)	グループかもめ
4月16日	「10周年記念 古典研究会朗読発表会」	伝統文化交流館(東京/港区)	古典研究会会員
4月25日	山本周五郎を聴く「不断草」「将監さまの細みち」	栃木県総合文化センター(栃木/宇都宮市)	青木ひろこ
5月24日	「朗読散歩(28)」	門天ホール(東京/墨田区)	松島邦
6月6日	「2026茨木のり子生誕100年没後20年つどい」	保谷こもれびホール(東京/西東京市)	松島邦
6月13・14日	「第22回 朗読の日」	銀座博品館劇場(東京/中央区)	NPO日本朗読文化協会会員
6月21日	「山本周五郎 読み語り」	一櫓庵(東京/杉並区)	青木ひろこ
6月28日	「茨木のり子 生誕100年のつどい」 ～朗読(よみ)つぎ、歌いつぎ、語りつぐ～	荘銀タクト大ホール(山形/鶴岡市)	本間尚子
7月26日	札の辻朗読会	札の辻スクエア小ホール(東京/港区)	松島邦
8月10日	被爆ピアノコンサート「未来への伝言2026」	日本橋公会堂(東京/中央区)	飯島晶子

事務局からのお知らせ

★2026年度会費納入のお願い

3月末日までに下記口座へお振込みくださいますようお願い致します。年会費 正会員：12,000円 学生会員：5,000円(学生証のコピーを送付下さい)

[ゆうちょ振替口座]

記号・番号：00130-3-371259 NPO日本朗読文化協会

★ボランティア保険加入のご案内(期間：2026/4～2027/3)

全会員を基本コースに加入申込み致します(保険料350円は協会負担)。天災コース(保険料600円)をご希望の方は、追加保険料250円を会費と共に振込ください(通信欄にその旨をご記載下さい)。また、ボランティア保険を他所で加入済の方は事務局へご一報下さい。

★高輪朗読会運営費の支払い

高輪朗読会メンバー(38名、2025年12月現在)は運営費1,000円(印刷費・送料など)を毎年3月に協会年会費振込用紙通信欄に記載してある「高輪朗読会運営費1,000円」にレ点チェックし、お振込み下さい。

★特別講座・朗読教室2026年4月期申込み受付期間

会員 2月17日(火) 10:00～ 3月10日(火)

一般 2月20日(金) 10:00～ 3月10日(火)

※詳細は同封の「特別講座・朗読教室のご案内」をご覧ください。

★朗読指導者養成講座2026年度申込み

受付期間

2月2日(月)～3月10日(火)

その後選考があります。

※詳細はホームページまたは同封の「朗読指導者養成講座」のご案内をご覧ください。

★新入会員情報

2025年1月～12月入会43名



編集後記

朗読ニュース発行にご協力頂きました皆様、本当にありがとうございました。協会設立から間もなく四半世紀になるその1年、それぞれの場所で朗読に携わる姿が蘇ります。これからも立ち止まることなく、次の進化、変化を求めて挑戦し続ける姿は皆さんの周りにも波及することでしょう。朗読ニュースはその姿を綴っていきます。(N)

担当：朝比奈恵美 阿部公子 鶴月光子 齋藤こまり 田中邦子 中谷良史 本間尚子 前尾津也子 松坂貴久子 安井裕子

